

網津公民館だより

令和6年
8月号

暑中お見舞い申し上げます。7月の公民館活動報告をお届けします。

＜第2回成人講座：高齢者福祉の現場から＞

7月17日（水）開催

第2回成人講座は、市地域包括支援センター保健師白石恵子さんを講師に迎えて、7月17日に8名の参加者で開催しました。白石さんの切々と胸に響く語り口は会場を魅了しました。

まず、経験を基にした事例9例を紹介。その1例は、被害妄想で自分の持ち物が盗まれた、介護する娘を犯人呼ばわり。朝昼晩たわいもないことで電話をかけまくる老人のこと。次に、老々介護の例、90歳の母親が末期がん、介護する60歳の娘さんは重い心臓病の方のこと。次に、変な男が家にいるとスーツケースを抱えて逃げ込んで来た奥さん、家にいたのは旦那さんとのこと。

80歳代で5割、90歳代で7割になると言われる認知症、そして老いていく現実を見つめ、物事をきちんと判断できる今こそ考えてほしいことがある。

・判断力が低下・体力が低下した時、全てを委ねられる信頼できる人がいるか？

・支援を依頼する人間のつながりをもっているのか？などなど。

講師の白石さんは今年度一杯で退職予定。講演が終わって会場からは惜しめない拍手が巻き起こりました。長い間、お疲れさまでした。



＜第2回生涯学習講座：俳句を楽しむ会＞

7月10日（水）開催

第2回生涯学習講座「俳句を楽しむ会」は、7月10日に5名の参加者で行いました。館長あいさつの後、伊勢講師の俳句に対する思い入れの話や「荒城の月」の合唱など、和やかな雰囲気の中で会は始まりました。今月の兼題は「梅雨」。各人が作った俳句を読み上げ、作った動機・情景・場所を発表。

主な作品は以下の通り。

「早苗くん 縦横整列 一年生」

「タカラズカ 今を盛りに さきみだれ」（タカラズカは花の名宝塚ではありません。）

「炎天下 知恵限りなく しそジュース」

「梅雨晴れ間 腕まくりして 洗濯を」

「思い出の 渚歌った 初舞台」

「土用波 口には出さぬ 歳は老」

自由題として発表された「プーチンよ 未来の平和 語れるか」には驚かされ、井戸端会議風の1時間半は、あっという間に終了しました。生涯学習講座は年に6回開催します。8月の兼題は「お盆」。8月21日（水）に開催します。

参加希望の方は公民館で受け付けます。



☆8月の予定☆

第3回生涯学習講座：俳句を楽しむ会 講師＝伊勢 聡さん（8月21日午前10時）

防犯パトロール（月2回巡回）

＜館長からのメッセージ＞

暑い日が続いております。皆様にはお変わりないでしょうか？ 健康維持のため早朝ウォーキングを続けています。

おすすめは、直築の堤防です。私は「ドリュウ湾岸スカイロード」と名付けています。朝日が昇る情景は最高です。堤防には安全柵がありませんので、注意が必要ですが、満足されると思います。